

# 防火水槽の有蓋化は

## 町長 消火栓への移行なども検討



佐々木誠司 議員

通信機器が一切使えない時の対応は

**問** 高齢者世帯が増えている中、災害や停電時の情報伝達、安否確認などはどのように計画しているのか。

**町長** 自主防災組織、民生委員との連携による対応を基本として考えている。地域内連携の、より一層の充実をはかりたい。また、町内21か所の屋外スピーカー、町の公用車やコミセンの広報車も活用し情報発信したい。

聞き取りにくいJアラートへの対応は

**問** 屋外スピーカーの音声が届かないため、Jアラート緊急情報が伝わらない地域があるようにだが、対応は。

**総務課長** 住環境や気象状況等により、聞き取りにくい地域があることは承知している。増設ではなく、ほかの周知伝達方法の検討も行いながら対応しなければならぬ課題と認識している。

防火水槽の管理負担は

**問** 土砂の流入や地域の高齢化と世帯数の減少等により、管理の住民負担が大きくなっている。今後の対応は。

**町長** 各地区から有蓋化の要望も多いため、財政計画を踏まえて推進していきたい。管理に対する支援のあり方や、場所によっては消火栓に移行することなども検討していきたい。

**町長** 各地区から有蓋化の要望も多いため、財政計画を踏まえて推進していきたい。管理に対する支援のあり方や、場所によっては消火栓に移行することなども検討していきたい。

水圧不足の消火栓は

**問** 水圧が弱く、迅速な消火活動に支障をきたす箇所があるようだが、対応は。

**町長** 現在3か所確認している。詳しく状況を調査し、水道管の更新または貯水槽への移行など、方法を十分に検討し、対応していきたい。

**町長** 現在3か所確認している。詳しく状況を調査し、水道管の更新または貯水槽への移行など、方法を十分に検討し、対応していきたい。

自動体外式除細動器(AED)の増設は

**問** 介護予防教室や高齢者のサロンなど、地域での行事が増えている。コミセン分館など地域の集会所施設にもAEDの設置を検討できないか。

**町長** すでに主な公共施設に設置しているが、地域施設への増設は、効率性を考え慎重に検討したい。現在町が所有しているものを、行事の際に

**総務課長** 現在町が所有しているものを、行事の際に

貸し出しなどもできないか、研究していきたい。

運転免許を持たない若手消防団員への対応は

**問** マニユアル自動車運転免許を持たない若手消防団員を増えている。免許取得に対する支援など、町の考えは。

**町長** 状況について消防団の意見を聞きながら、方向性を打ち出していきたい。



救命への関心が高まっている



高齢者世帯にJアラート情報が伝わりやすい施策を。